絶句（四季）―原文―

春暁

孟浩然

春眠不レ覚レ暁ヲ
処処聞ニ啼鳥一ヲ
夜来風雨ノ声
花落ツルコト知ル多少ヲ

（『唐詩選』）

江南ノ春

杜牧

千里鶯啼キテ緑映レ紅ニ
水村山郭酒旗ノ風
南朝四百八十寺
多少ノ楼台煙雨ノ中

（『三体詩』）

春あけぼの

春あけぼののうすねむり
まくらにかよう鳥の声
風まじりなる夜べの雨
花ちりけんか庭もせに

（『鶯の卵』土岐善麿）

秋風引

劉禹錫

（『唐詩選』）

何処（いづレノところヨリカ）蕭蕭（せうせう）秋風至ル
朝来（トシテ）蕭蕭（せうせう）客ノ庭ニ雁群（がんぐん）ヲ送ル
孤客最モ先ニ聞ク
孤客最モ先ニ聞キ
朝来庭ニ入リ
何処ヨリカ秋風ノ
蕭蕭トシテ至ル
蕭蕭トシテ雁群ヲ送ル

江雪

柳宗元

（『唐詩三百首』）

千山鳥飛（ブコト）絶（エ）ス
万径人蹤（しょう）滅（ス）ス
孤舟蓑笠（りふ）ノ翁
独リ釣ル寒江ノ雪